

パフューム ある人殺しの物語 (2006)

PERFUME: THE STORY OF A MURDERER

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ 歴史劇

製作国 ドイツ/フランス/スペイン

色彩 Color

時間 147分

初公開日 2007/03/03

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

映倫 PG-12

【キャッチコピー】

それは、昨日まで人だったもの。

【解説】

パトリック・ジュースキントの禁断のベストセラー『香水 ある人殺しの物語』を、「ラン・ローラ・ラン」「ヘヴン」のトム・ティクヴァ監督が映画化した衝撃のサスペンス・ドラマ。ある“香り”にとりつかれた一人の青年が、その香りを追い求めるあまり、恐るべき凶行へと駆り立てられていくさまを緻密かつ緊張感みなぎる映像で綴る。主演は「ブライアン・ジョーンズ ストーンズから消えた男」のベン・ウィショー、共演に「ピター・パン」のレイチェル・ハード＝ウッド、アラン・リックマン、ダスティン・ホフマン。

18世紀のパリ。悪臭立ちこめる魚市場で一人の赤ん坊が産み落とされる。危うく捨てられかけた赤ん坊は、間一髪で拾われ、グルヌイユと名付けられて育児所に引き取られる。グルヌイユは友だちもいない孤独な子どもだったが、何キロも先の匂いを嗅ぎ分ける超人的な嗅覚の持ち主だった。やがて青年となったグルヌイユは、ある時運命の香りと出会った。それは赤毛の少女の体から匂い立っていた。しかし彼は、怯えて悲鳴を上げようとした少女の口をふさぎ、誤って殺してしまう。以来、彼は少女の香りを再現することに執着し、香水調合師バルディーニに弟子入りするのだが…。

【クレジット】

監督	トム・ティクヴァ	Tom Tykwer
製作	ベルント・アイヒンガー	Bernd Eichinger
製作総指揮	フリオ・フェルナンデス	Julio Fernandez
	アンディ・グロッシュ	Andy Grosch
	サミュエル・ハディダ	Samuel Hadida
	マヌエル・マーレ	Manuel Malle
	マルティン・モスコヴィッツ	Martin Moszkowicz
	アンドレアス・シュミット	Andreas Schmid
原作	パトリック・ジュースキント	Patrick Suskind
脚本	トム・ティクヴァ	Tom Tykwer
	アンドリュー・バーキン	Andrew Birkin
	ベルント・アイヒンガー	Bernd Eichinger
撮影	フランク・グリーベ	Frank Griebe

『香水
ある人殺
しの物語』
(文藝春
秋刊)

allcinema

美術監督	ウリ・ハニッシュ	Uli Hanisch	
衣装デザイン	ピエール＝イヴ・ゲロー	Pierre-Yves Gayraud	
編集	アレクサンダー・バーナー	Alexander Berner	
音楽	トム・ティクヴァ	Tom Tykwer	
	ジョニー・クリメック	Johnny Klimek	
	ラインホルト・ハイル	Reinhold Heil	
演奏	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	Berliner Philharmoniker	
指揮	サイモン・ラトル	Simon Rattle	
ナレーション	ジョン・ハート	John Hurt	
出演	ベン・ウィショー	Ben Whishaw	ジャン＝バティスト・グルヌイユ
	ダスティン・ホフマン	Dustin Hoffman	ジュゼッペ・バルディーニ
	アラン・リックマン	Alan Rickman	リシ
	レイチェル・ハード＝ウッド	Rachel Hurd-Wood	ローラ
	アンドレス・エレラ	Andres Herrera	
	サイモン・チャンドラー	Simon Chandler	
	デヴィッド・コールドー	David Calder	
	カロリーネ・ヘアフルト	Karoline Herfurth	